

平成19年研修見学会

株式会社 太平洋コンサルタント
齊藤 勇樹



今回研修見学会に参加させていただきありがとうございます。私はこのような研修会に参加することは初めてなのですが、自分自身にプラスになるとても充実した一日を過ごさせていただきました。

計量標準管理センターでは標準物質品質保証システムの整備、運用に関わる調整、標準物質の安全管理、標準物質の認証管理、認証標準物質の頒布を行っており、技術、体制、設備、運営など様々な面で国際的に適用する規準を満たした品質システムを備えて、また試験、校正機関の満たすべき要求事項を規定したISO/IEC 17025、標準物質生産機関に対するISOガイド34に基づいた品質システムを運用し、これらの品質システムはASNITE-NMIプログラムのもとで第三者認定を習得し計量標準配給サービスの信頼性確保を進めている機関であることを聴取させていただきました。

このように標準物質の認証管理、認証標準物質の頒布、計量計測機器の校正など日本でも指導的立場の管理センターに立ち入り、開発され供給している認証標準物質を実際に手に取ることや、研究室で行われている試験を間近で見学する等、普段ではなかなか得ることができない貴重な体験をさせていただきました。

計測標準研究部門においては、いくつかの部門を見学させていただきました。中でも無機分析の部門において、SIへのトレーサビリティが重要であり、トレーサビリティを実現するために一次標準測定法に位置づけられ得る方法として、適定法、重量分析法、電量適定法が無機分析の分野で重要な役割を果たしていることを聴取させていただきました。

サイエンススクエアつくばでは産業技術総合研究所が行っている研究成果や研究開発された実物が展示されていまして。地球温暖化対策のために開発された自動車燃料や多種多才な動きをするロボット、人間の体の中に取りつけられる人工心臓など最先端の研究成果や社会に貢献するものがジャンルを問わずありました。

このように様々な内容がありましたが、いずれも人の手から造られているということに改めて現在にいたる日本の技術力の高さに感心をいたしました。

この研修見学会を通じて、様々な分野における最先端の設備と技術をあらためて知ることができました。また、それ以上に数多くの皆様と交流を築くことができ、大きな財産を得ることができたと感じております。不安な気持ちいっぱいバスに乗車しましたが、和やかで和気あいあいとした雰囲気の中、入社2年余の小生でもすぐに溶け込むことができました。ぜひ会員の皆様にも参加をお勧めいたします。最後に、貴重な体験の場を提供いただいた千葉県環境計量協会関係者様に厚く御礼申し上げます。